

2020年3月期

決算説明会

JKホールディングス株式会社（9896）

代表取締役社長 青木 慶一郎



2020年6月9日



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.

エグゼクティブサマリー

2020年3月期

業績

	売上高	経常利益	当期純利益
2020年3月期	3,684億円	47億円	27億円
2019年3月期	3,589億円	46億円	21億円

- ・新設住宅着工戸数が883.6千戸（前年比7.3%減）、持ち家着工戸数は283.3千戸（同1.5%減）
⇒ 減少幅は比較的軽微だが、単月では8月以降前年比マイナス
- ・ジャパン建材の機構改革、キーテック山梨工場稼働の諸施策寄与し前年比95億44百万円増（前年比2.7%増）

中期経営計画

	売上高	経常利益
2020年3月期	3,650億円	47億円
2021年3月期	3,700億円	49億円
2022年3月期	3,750億円	51億円

※2021年3月期以降の業績計画については新型コロナウイルス感染症の影響により変動する可能性があります。

J Kホールディングス(株)について 5ページ

(1) 会社概要	6
(2) 当社グループ事業概要	7
(3) 事業概要と主なグループ企業	8
(4) 当社グループ事業領域一覧	9

2020年3月期決算概要 10ページ

(1) 連結業績	11
(2) バランスシートの状況	12
(3) キャッシュフローの状況	13
(4) 事業別の売上高・営業利益推移	14
(5) 主要連結子会社の業績推移	15
(6) 販管費増減分析	16

当社グループの取り組み 17ページ

(1) 中期目標 - 売上高と経常利益の見通し	18
(2) 重点施策	19
(3) 中期経営計画進捗	
企業プレゼンスの向上	20
・環境配慮型 PB J-GREENについて	21
・株主優待制度について	22
・自己株式取得の実施	23
(4) 新たな価値の創造	24
・キーテック 山梨工場	25
・(株)ティンバースケープについて	26
・プライベートブランドBullsの販売状況	27
・JK木構造建築グループの取り組み	28
・全国縦断の施工ネットワーク	29
・ジャパン建材(株)住設部電材課新設	30
(5) 強くしなやかな組織作り	31
・ジャパン建材(株) 営業本部組織再編	32
・集成材製造子会社 ティンバラム(株)	33
・SDGs への取り組み	34
・新型コロナウイルス感染症への取り組みについて	35
(6) 利益処分に関する基本方針及び配当金	36
(7) 経営方針と今後の打ち手・経営陣から株主の皆様へ	37

補足資料 38ページ

(1) 建材卸売事業の概要	39
(2) 合板製造・木材加工事業の概要	40
(3) 総合建材小売事業の概要	41
(4) 快適住まいの家	42
(5) 住宅ローンフラット35の取扱い	
(株)ハウス・デポ・パートナーズ	43
(6) 住宅完成保証のハートシステム事業	
(株)ハウス・デポ・ジャパン	44

J Kホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

「快適で豊かな住環境の創造」を企業理念に掲げ、日本の住環境を少しでもよくするため、すべてのお客様に貢献することを目指しています。

特に、商売上ではお客様が儲かってこそ我々も初めて儲かるという観点から、「すべての取引先のお役に立つ事を目指す」をモットーに、共存共栄の精神で経営に当たっています。社内研修でも会長をはじめ、役員が必ず講義の時間を持ち、社員に対して経営理念の共有化を心掛けています。

基本情報（2020年3月31日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 13社
従業員数	3,103名（連結）		② 合板製造・木材加工事業 10社
			③ 総合建材小売事業 21社
			④ その他 16社

(2) 当社グループ事業概要



スマイルが生まれる住まい JK Holdings Co.,Ltd.



(3) 事業概要と主なグループ企業

住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社に、住宅関連企業をグループ傘下に展開する純粋持株会社です。

(2020年3月31日現在)

総合建材卸売事業

ジャパン建材(株) クロカワベニヤ(株)
通商(株) (株)銘林
JKI(株) (株)広島
(株)ミトモク 他 連結子会社 1社
物林(株) 非連結子会社 3社
(株)KEY BOARD

合板製造・木材加工事業

(株)キーテック 北海道プレカットセンター(株)
日本パネフォーム(株) (株)MIYAMORI
秋田グルーラム(株) (株)群馬木芸
(株)ブレックコンポーネント (株)アイチキャビネット
(協)オホーツクウッドピア 他 関連会社 1社

総合建材小売事業

(株)ブルケン・マルタマ (株)ハウス・デポ関西
INTERRA Japan(株) (株)ブルケン・ウエスト
(株)ハウス・デポ関東 (株)ブルケン四国
トップ建材(株) (株)ブルケン松山
(株)ブルケン東日本 (株)ティエフウッド
新しいずみ建装(株) (株)長谷川建材
(株)ハウス・デポ・プラス 他 関連会社 8社



その他

建設工事業

(株)エムジー建工 (株)ティンバースケープ
JKホーム(株) 関連会社 1社

倉庫及び運送業

(株)JK CARGO インテラUSA社
(株)ジェイケー物流 INTERRA JK SINGAPORE
他 非連結子会社 3社

資材取次業

フランチャイズ事業

(株)ハウス・デポ・ジャパン JKスマイル(株)

旅行・保険代理業

住宅ローン仲介業

(株)ハウス・デポ・パートナーズ ジャパン建材沖縄(株)

不動産賃貸業

(4) 当社グループ事業領域一覧

基盤

収益力強化による稼ぐ力向上。

成長

成長事業の強化による基盤事業の高付加価値販売。

最近の
取り組み

新たな取り組みにより経常的な利益拡大を目指す。

基盤事業	成長事業	最近の取り組み
<p>総合建材卸売事業</p> <p>(ジャパン建材(株)、通商(株)、物林(株))</p>	<p>プライベートブランド Bullsの強化 (P27)</p> <p>ユニットバス・システムキッ チン等の材一式販売 (P29)</p>	<p>環境配慮型プライ ベートブランド J-GREENの強化 (P21)</p> <p>電材分野への取り組み (P30)</p>
<p>合板製造・木材加工事業</p> <p>((株)キーテック)</p>	<p>JK木造建築グループにお ける非住宅分野の強化 (P28)</p> <p>集成材事業</p>	<p>キーテック山梨工場稼働 (P25)</p> <p>秋田グルーラム(株) (株)MIYAMORI 合併 (P33)</p>
<p>総合建材小売事業</p> <p>((株)ハウスデポ関東)</p>	<p>M&A</p>	<p>(株)ティエフウッド・ (株)長谷川建材等多数の M&A</p>
<p>その他</p>	<p>小売店・工務店支援の ハートシステム (P44)</p> <p>長期固定金利住宅ローン フラット35 (P43)</p>	<p>豊洲ぐるりパーク 公園管理事業 PFI (P26)</p> <p>((株)ティンバースケープ)</p>

2020年3月期決算概要

(1) 連結業績

- 中期経営計画の諸施策の寄与から売上増加となりました。
- キーテック山梨工場のコストが先行したものの、他グループ会社各社で補い粗利率が全体的としてプラスとなりました。
- 人件費および運賃が上昇する一方、販管費全体の増加を抑えました。

(百万円)	2020年3月期計画	2020年3月期	2019年3月期	前年比 (%)	計画比
	売上高	365,000	368,479	358,935	102.7%
売上総利益	37,300	37,871	36,596	103.5%	102%
(粗利率%)	10.2%	10.3%	10.2%		
販管費	32,300	32,759	31,619	103.6%	101%
営業利益	5,000	5,111	4,976	102.7%	102%
経常利益	4,700	4,711	4,665	101.0%	100%
当期純利益	2,600	2,780	2,121	131.1%	107%

(2) バランスシートの状況

- 前年度末が休日であった為、売上債権及び仕入債務が減少しています。
- 自己株式を取得いたしました。

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減
資産	215,152	208,602	▲ 6,550
現金及び預金	33,694	32,799	▲ 894
売上債権	86,498	79,924	▲ 6,573
たな卸資産	22,727	23,138	411
固定資産	69,733	70,219	485
負債	174,343	166,522	▲ 7,821
仕入債務	111,620	101,081	▲ 10,538
有利子負債	45,982	46,714	732
自己資本	39,552	40,724	1,172
自己株式	▲ 474	▲ 833	▲ 358
その他有価証券評価差額金	1,540	884	655
(自己資本比率%)	18.4 %	19.5 %	

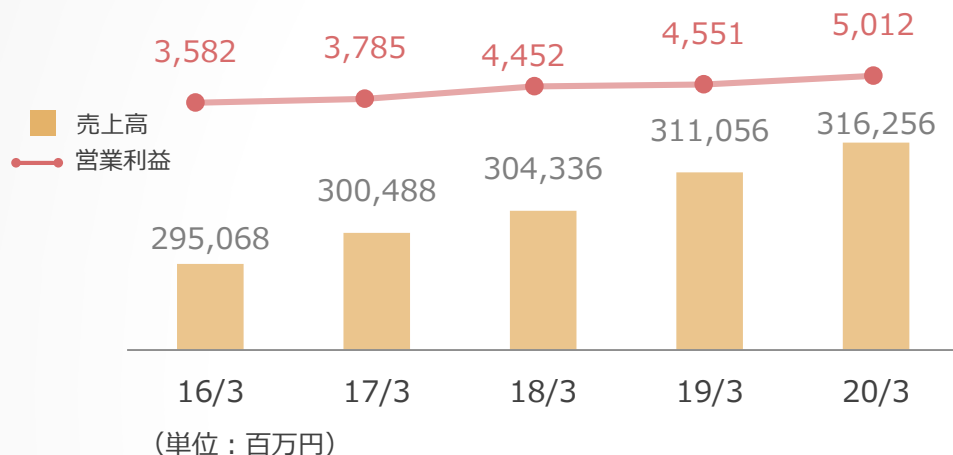
(3) キャッシュフローの状況

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	前年差
営業キャッシュフロー	5,307	6,858	1,551
売上債権の増減額 (△は増加)	945	7,278	6,333
たな卸資産の増減額 (△は増加)	▲ 3,296	▲ 204	3,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,511	▲ 11,443	▲ 13,955
投資キャッシュフロー	▲ 7,779	▲ 5,886	1,893
有形固定資産取得による支出	▲ 7,376	▲ 5,970	1,406
財務キャッシュフロー	3,311	▲ 2,010	▲ 5,321
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,677	▲ 5,558	▲ 10,235
長期借入れによる収入	8,826	13,214	4,388
長期借入金の返済による支出	▲ 9,284	▲ 9,432	▲ 148
自己株式取得による支出	▲ 79	▲ 356	▲ 277
配当金の支払額	▲ 492	▲ 554	▲ 61
現金及び現金同等物の期末残高	33,371	32,515	▲ 856

(4) 事業別の売上高・営業利益推移

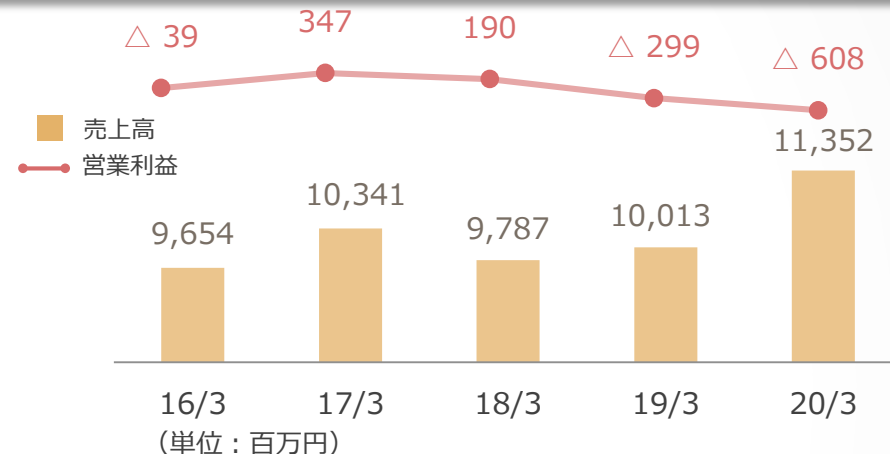
① 総合建材卸売事業

総合建材卸売事業は、建材、住宅機器等各取扱商品ともに売上および利益の両面で順調に伸びたほか、輸入合板市況の回復により合板全体の業績も好転しました。



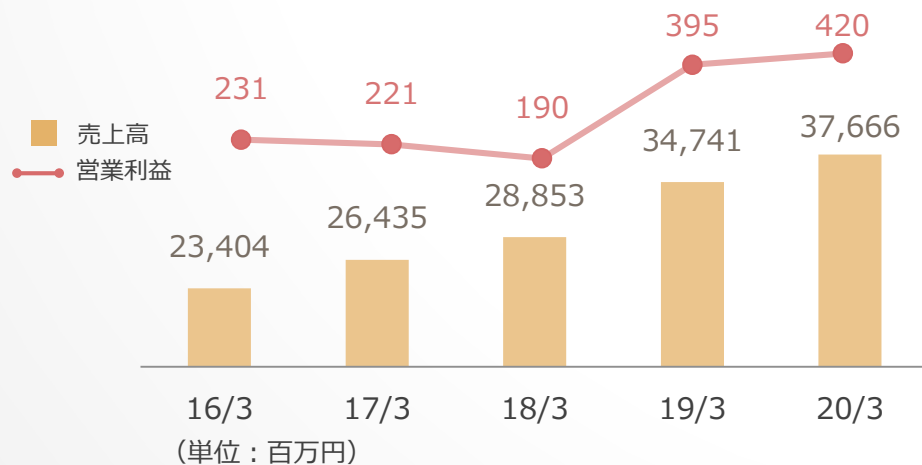
② 合板製造・木材加工事業

(株)キーテックでは、主力商品であるLVLについて、貸家向けの販売減に加え、原木の原産地の税制改正などによるコスト増から減収減益になったことに加え、山梨合板工場の立ち上げにより減価償却費や人件費等の経費が増加しており、稼働率の向上等により縮小方向にあるとは言え、前期比では大幅な減益となっています。

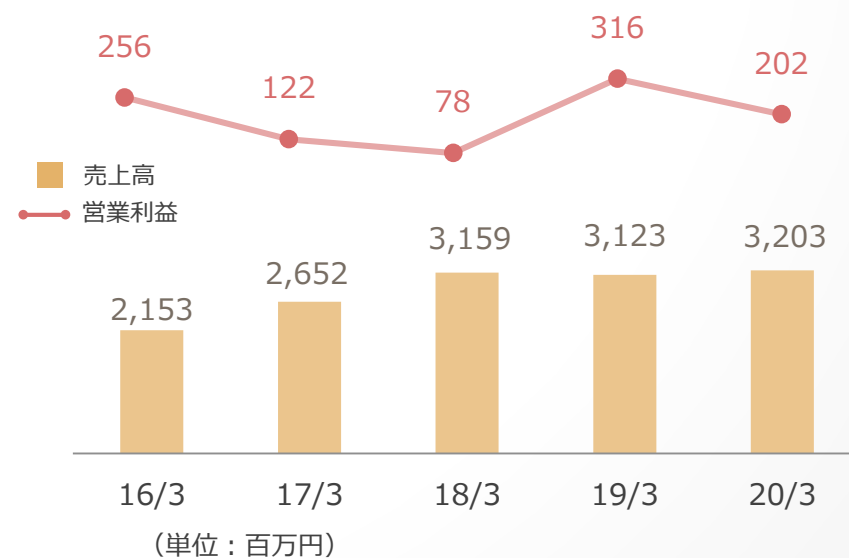


③ 総合建材小売事業

建材小売事業は、再編を逐次進めており、四国地区の建材小売3社を合併し(株)ブルケン四国としたほか、(株)ハウス・デポ関西を新たに連結対象子会社に加えました。

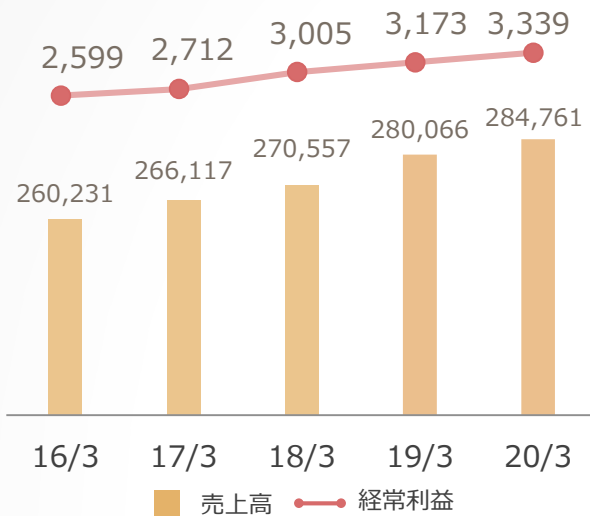


④ その他



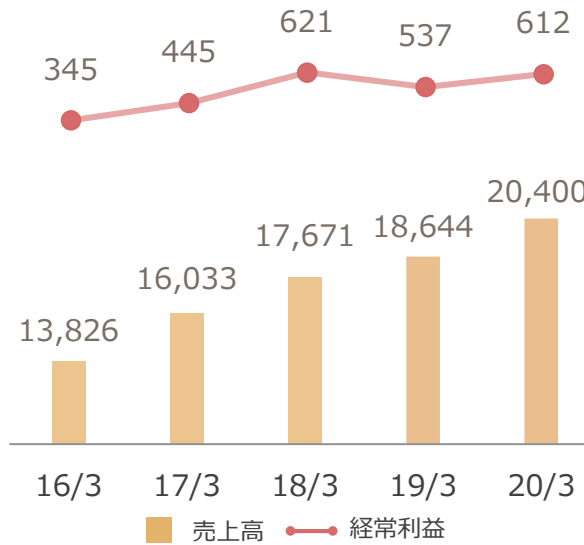
(5) 主要連結子会社の業績推移

① ジャパン建材(株)



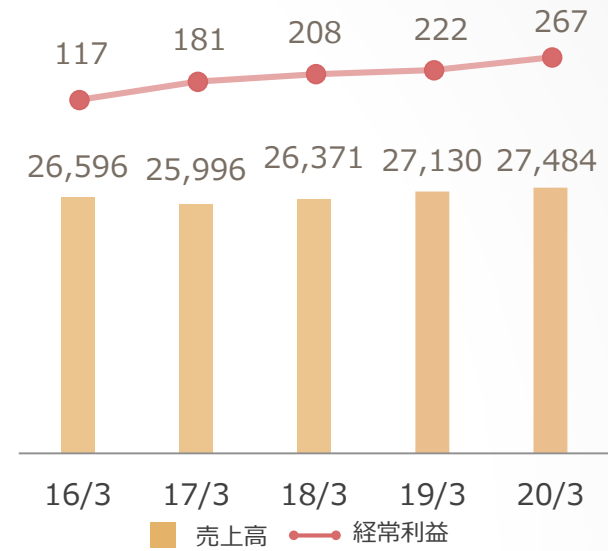
(単位：百万円)

② 通商(株)



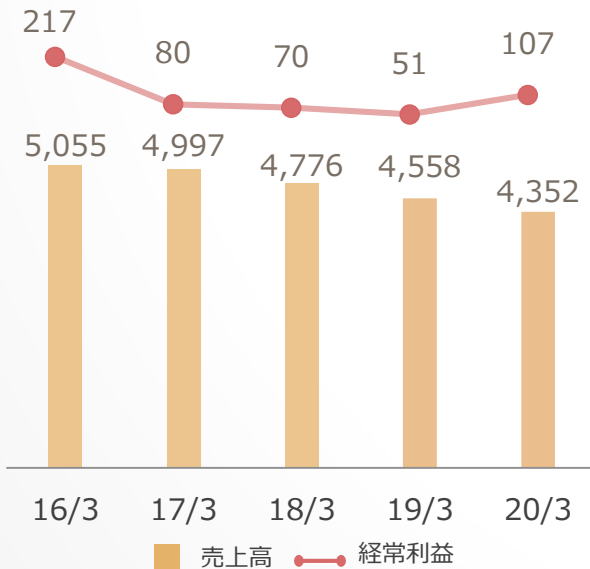
(単位：百万円)

③ 物林(株)



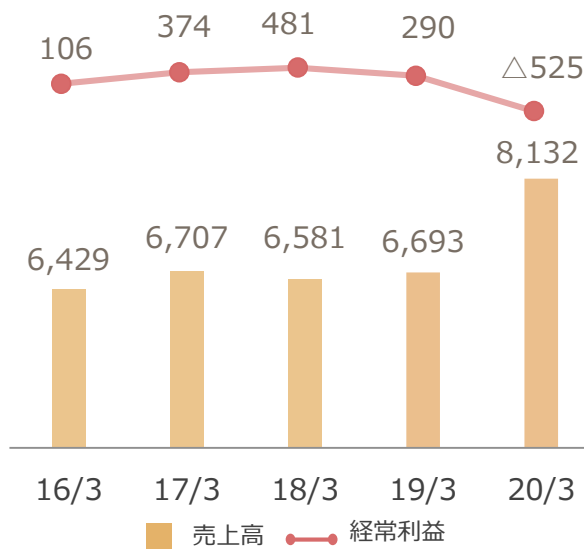
(単位：百万円)

④ (株)銘林



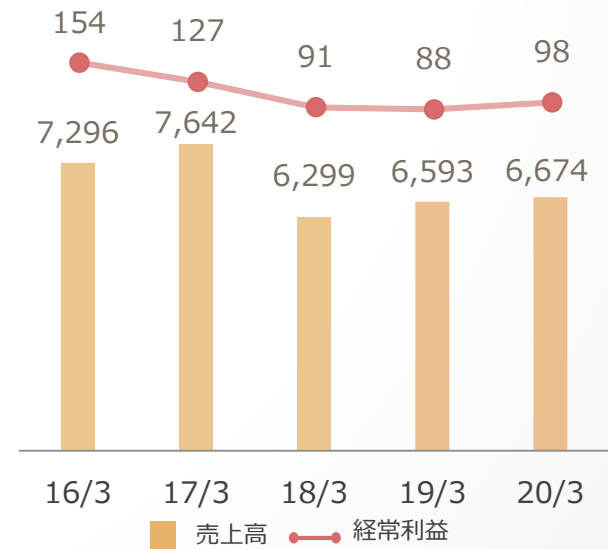
(単位：百万円)

⑤ (株)キーテック



(単位：百万円)

⑥ (株)HD関東

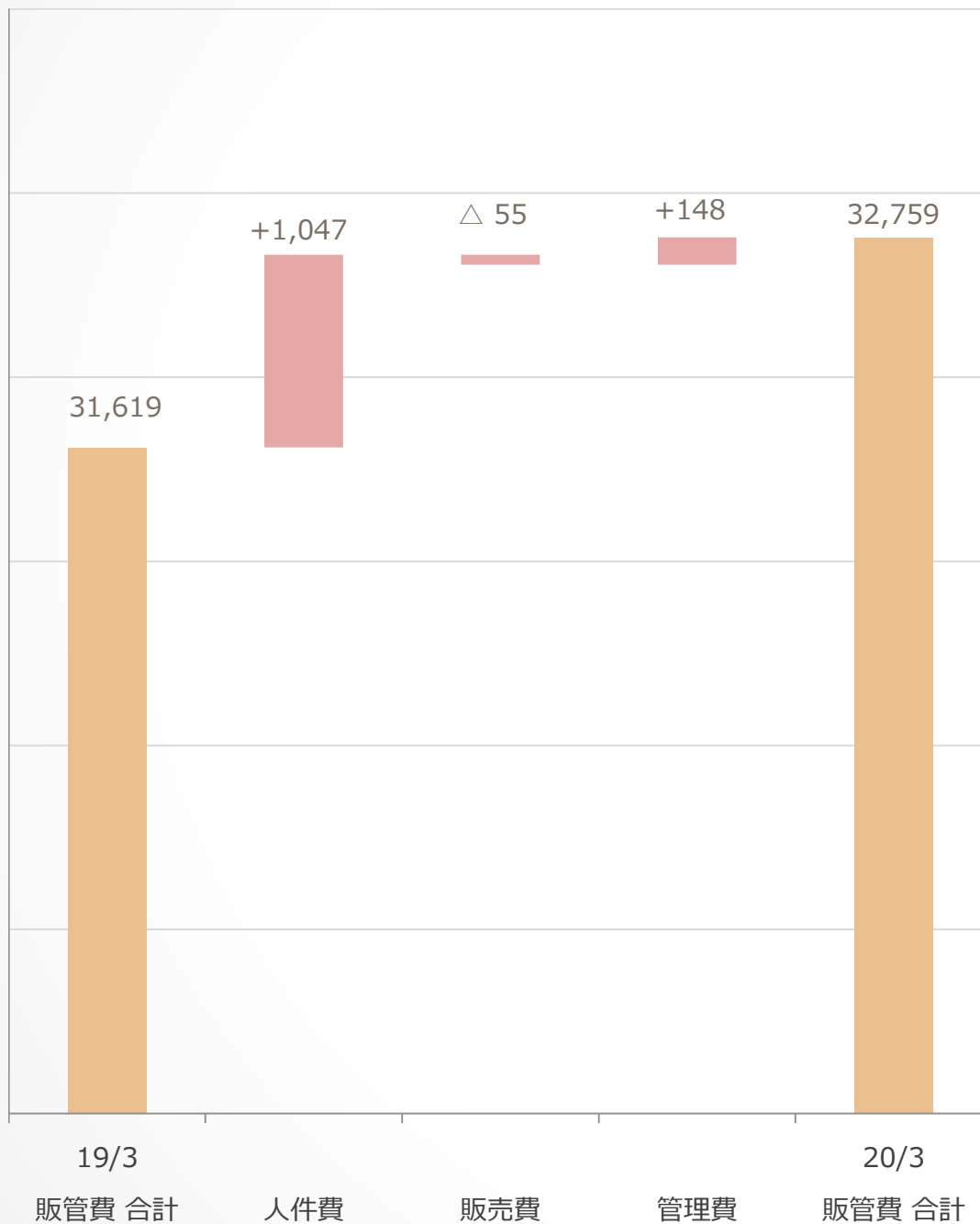


(単位：百万円)

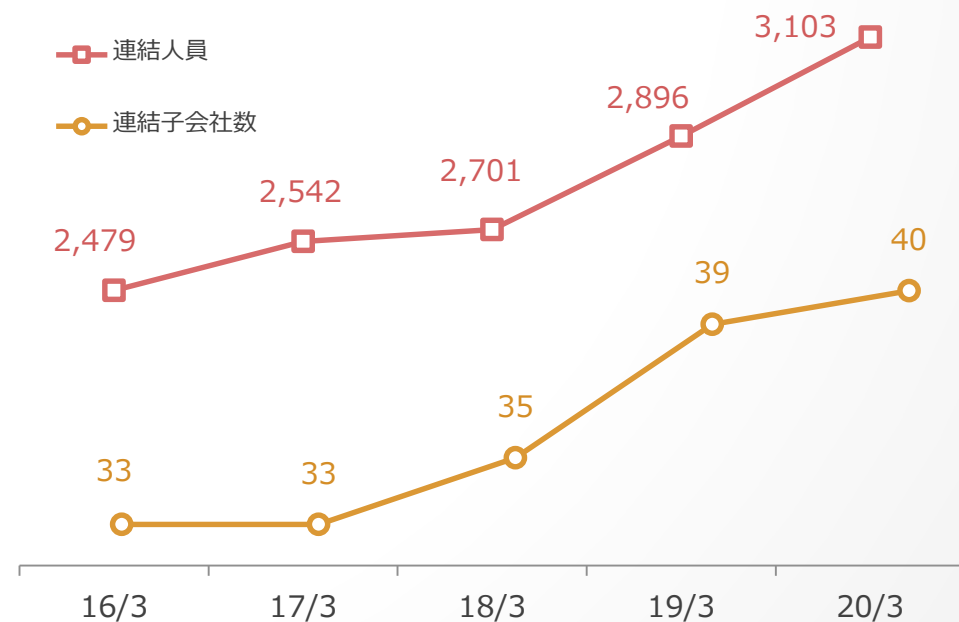
(6) 販管費増減分析

(単位：百万円)

(単位：百万円)

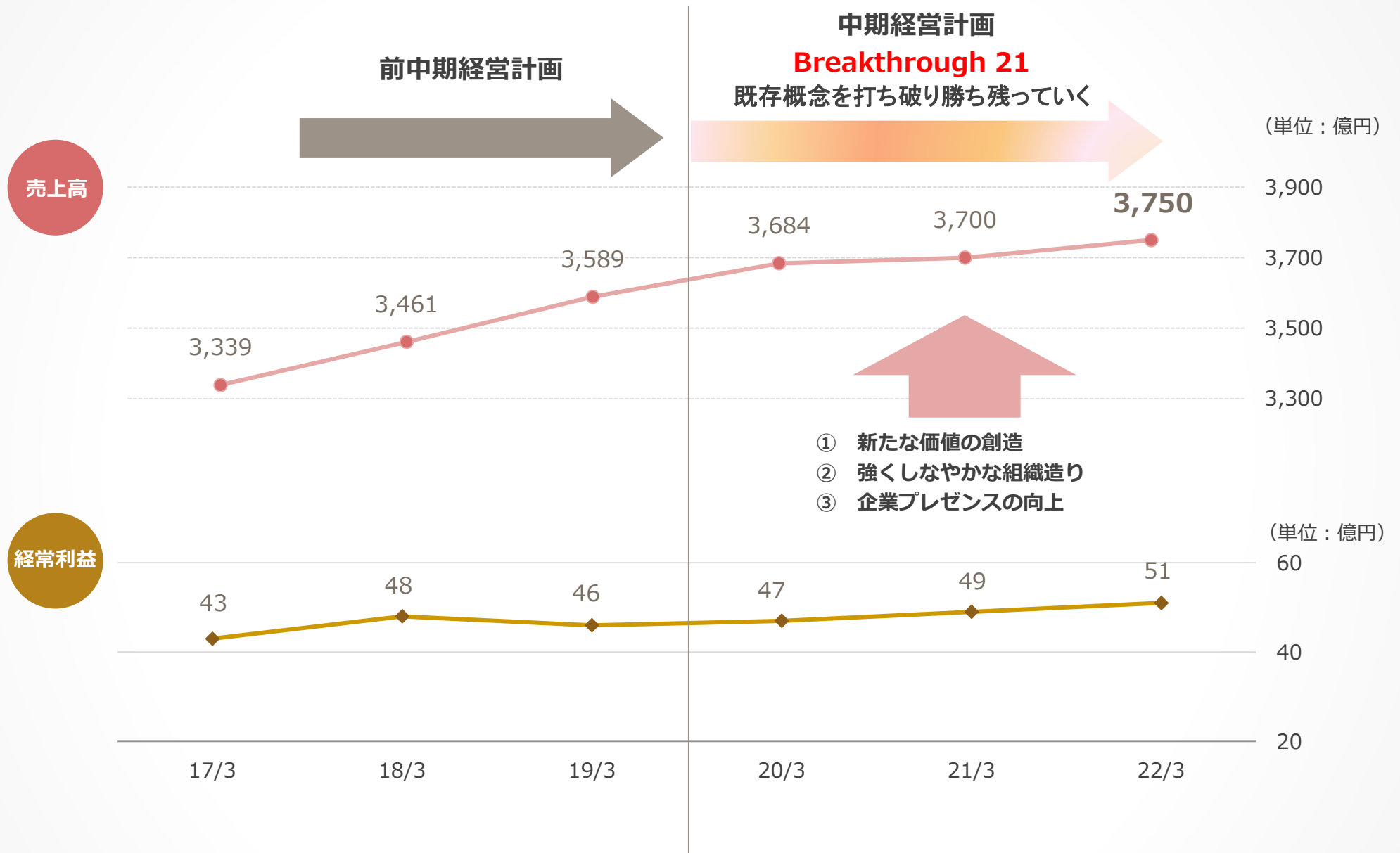


	主要販管費増減内訳		
	19/3	20/3	増減比率
人件費	17,809	18,856	5.9%
販売費	7,707	7,651	△ 0.7%
管理費	6,103	6,251	2.4%
合計	31,619	32,759	3.6%



当社グループの取り組み

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益の見通し



※2021年3月期以降の業績計画については新型コロナウイルス感染症の影響により変動する可能性があります。

「Breakthrough 21」

既存概念を打ち破り勝ち残っていく

企業プレゼンスの向上

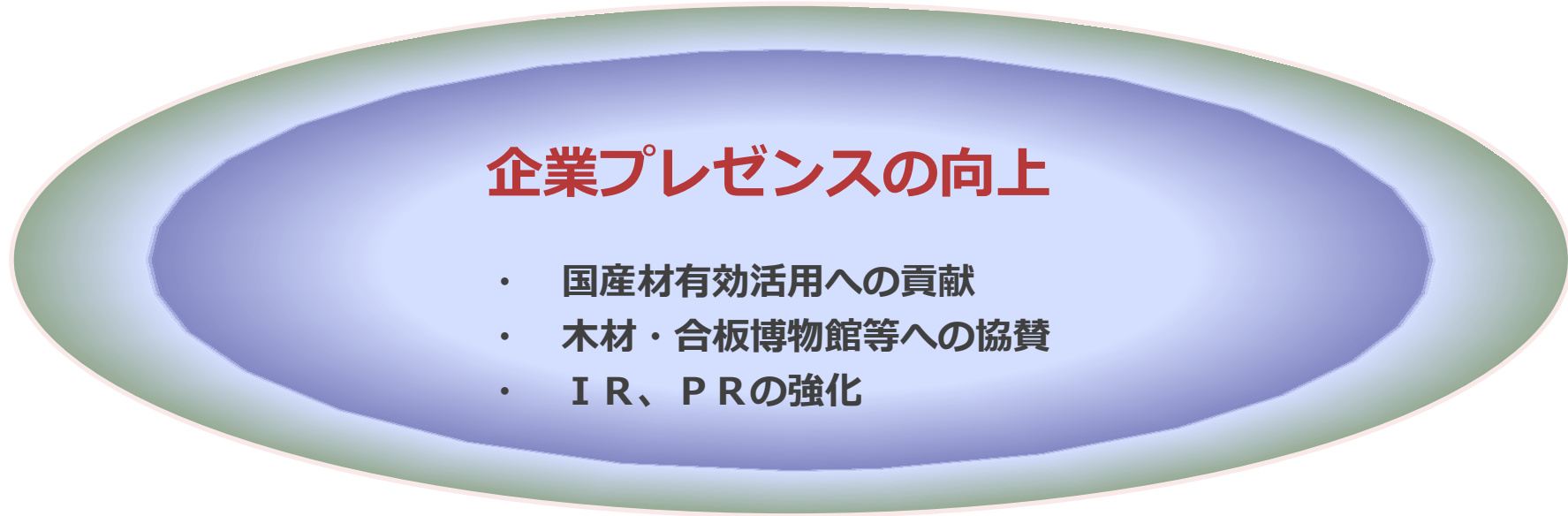
- ・ 国産材有効活用への貢献
- ・ 木材・合板博物館等への協賛
- ・ I R、P Rの強化

新たな価値の創造

- ・ (株)キーテックが山梨合板工場を新設し今春稼動開始
- ・ INTERRA Japan(株)を核にE Cビジネスを拡充
- ・ パークP F I・公民連携への取り組み
- ・ 材工一式販売、P B商品、
J K木造建築グループ等付加価値部門の拡大

強くしなやかな組織作り

- ・ ジャパン建材(株)の機構改革
- ・ 海外事業
- ・ 建材小売子会社の再編
- ・ システムインフラの整備
- ・ 木質素材製造子会社の再編
- ・ 業界再編への取り組み
- ・ 働き方改革の実践と人材育成



- ・ 環境配慮型プライベートブランド J-GREEN 売上高25億円
- ・ 2020年3月期末より JKホールディングス株主優待制度変更
- ・ 2019年9月より自己株式の取得を実施



ジャパン建材(株)は合板・木材製品のエコブランド、プライベートブランドの「J-GREEN」事業を開始しました。合法性等に配慮した製品、環境に優しい製品を選定し、国内外での普及に向けて取り組んでまいります。

■ 2020年3月期 実績

(百万円)	上期	下期	通期
売上高	1,357	1,433	2,556
合板	1,101	1,012	2,114
木材	255	186	441



← 地球樹Mクロス



合法性が担保された商品を市場に送り、従来の汎用品市場とは区別した市場を開拓し、木材・合板シェアの拡大を目指しています。

JK ホールディングス・プレミアム優待倶楽部

株式保有数に応じた **株主優待ポイント** を進呈

保有株式数	進呈ポイント
300株～599株	★ 3,000ポイント
600株～999株	★ 5,000ポイント
1,000株～1,999株	★ 10,000ポイント
2,000株以上	★ 20,000ポイント



ポイント引換商品のイメージ

■ 適時開示情報

- 1、自己株式取得の日程 2019年9月9日～2020年3月31日
取締役会の決議に基づき取得した自己株式の累計
取得した株式の総数 500,000株
株式の取得価額の総額 321,025,700円
- 2、自己株式取得の日程 2020年3月16日～2020年7月31日
取得した株式の総数 424,200株
株式の取得価額の総額 308,435,500円
(2020年5月31日時点)

新たな価値の創造

- ・ (株)キーテックが山梨合板工場を新設し今春稼動開始
- ・ INTERRA Japan(株)を核にE Cビジネスを拡充
- ・ パークP F I ・ 公民連携への取り組み
- ・ 材工一式販売、P B商品、
JK木造建築グループ等付加価値部門の拡大



- ・ 100%国産材使用した合板工場 キーテック山梨工場生産量月間5,700m³
- ・ 公園管理事業・パークP F I (株)ティンバースケープ取り組み
- ・ プライベートブランドB u l l s 売上128億円 (前年対比101%)
- ・ JK木造建築グループ非住宅分野 売上37億円 (前年対比90%)
- ・ エンジニアリング部 材工一式販売売上633百万円 (前年対比115%)

KEYTEC™

株式会社 キーテック



生産ライン カットライン



⇒ **100%国産材を使用した合板工場**で、原木は山梨県産材を中心に近隣の都県から調達。
生産能力は月間5,700立方メートル。月間1万立方メートルの原木消費。

製造する合板は12~28mm厚の3×6板の針葉樹構造用合板が中心で、将来的にはフロア台板の生産も行う。

木造建築

パークマネジメント

TIMBER + SCAPE



建設事業

パークマネジメント事業

地域産木材による大型木構造建築の設計・施工をメインとする建設事業と、公園の建設から運営・管理を行うパークマネジメント事業を2本柱にした新しい会社です。

豊洲ぐるりパークの指定管理業務を物林(株)がJV代表として受託しました。その実務を(株)ティンバースケープが担っています。

大型木造施設「パークレストラン」を建設いたします。レストランとしての運営だけでなく、結婚式などの各種パーティーやイベント会場として活用いただく予定です。



企業プレゼンス向上

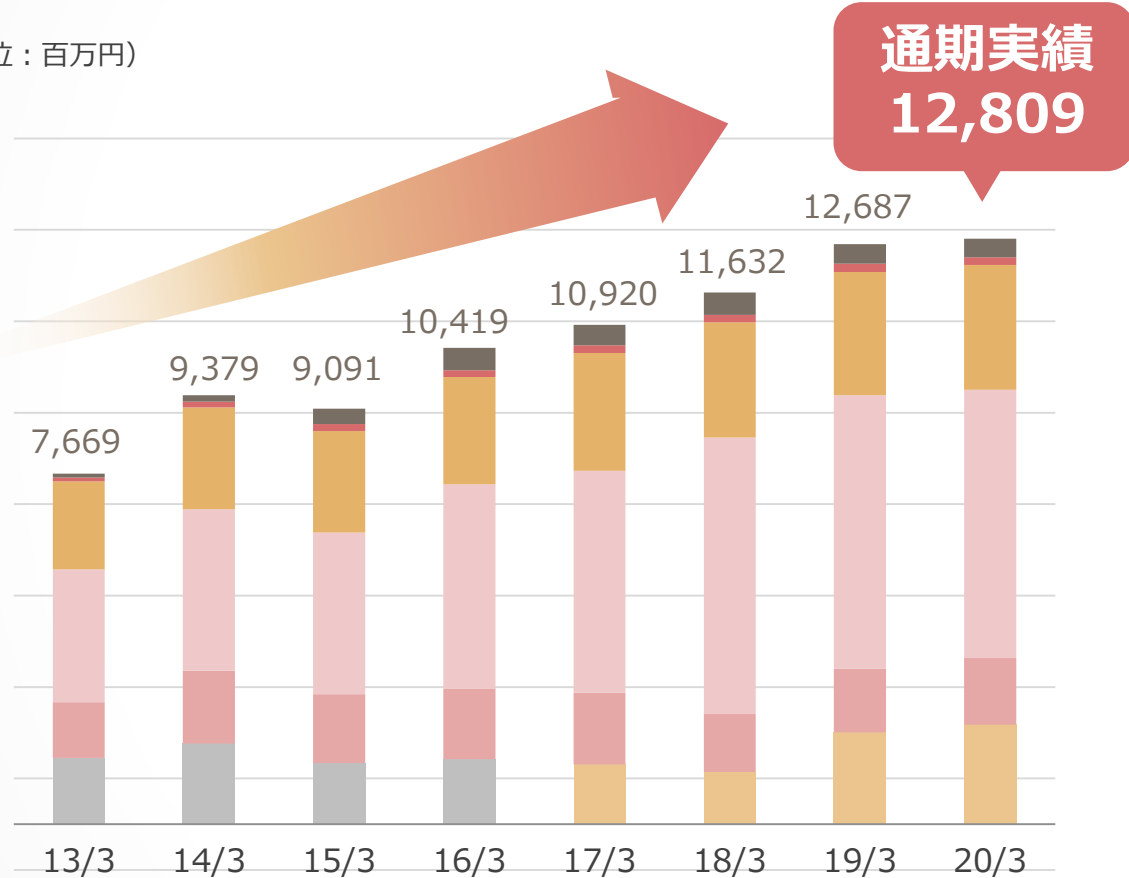
新たな価値創造

強くしなやかな組織作り

豊洲パークレストラン チャペル

来期のBulls売上計画は135億円。
2020年3月期の品目数は500超となりました。
強みである基礎資材を中心に、スケールを活かした新たな分野への販売活動に注力します。

(単位：百万円)



- 床材・壁材・天井材・階段
- 屋根・外壁・軒天・破風板
- 建材・建築副資材
- 住宅設備機材
- エクステリア・バリアフリー
- その他

企業プレゼンス向上

新たな価値創造

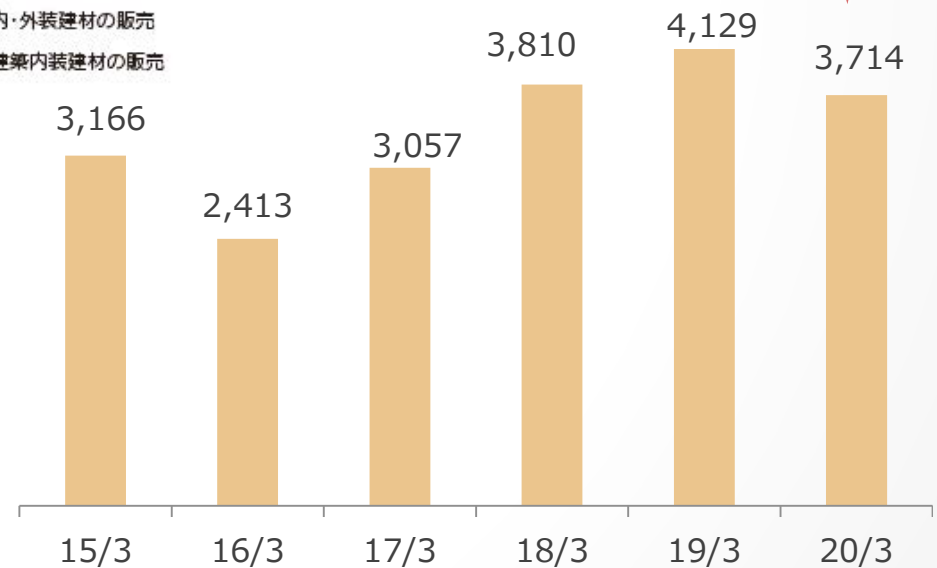
強くしなやかな組織作り

JK木造建築グループの取り組み

売上100億を目標に取り組み中。グループの力を協働し全体のボリュームアップを目指します。各社非住宅案件の営業を強化し、大型案件の受注につなげ業績拡大を目指します。



通期実績
3,714百万



(単位：百万円)

企業プレゼンス向上

新たな価値創造

強くしなやかな組織作り

全国47都道府県の主要都市への水廻り施工ネットワークの整備は完了しました。
今後は、更なる施工品質の強化に取り組んでいきます。

◆ ビジョン

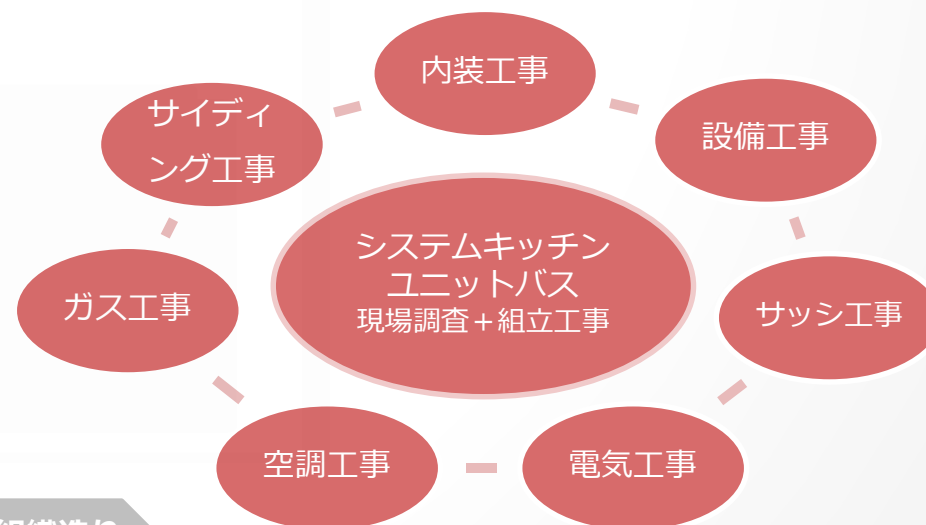
- ・ 全国縦断の安心安全&高品質の施工ネットワーク構築
- ・ 新需要領域へのアプローチ
- ・ 全社連携での強力な販売体制の確立
- ・ 新しい営業スタイル（商材+施工）の創造
- ・ 身近で頼りがいのあるJKエンジニアリング作り

施工ネットワーク

**全国縦断
400社
1400班**



工事対応力



(百万円,台)	19年3月期 通期	20年3月期		
		上期 実績	下期 実績	通期 実績
売上高	552	321	312	633
施工台数	10,354	5,808	5,712	11,520

企業プレゼンス向上

新たな価値創造

強くしなやかな組織作り

性能向上が急速に進んでいる電気設備資材に関して、特に機器類を提案・推進する部隊です。
新たなビジネスとなる電気設備資材の推進を行っていきます。

取扱い商品

機器類を中心に電気に関わる商材を取り扱います。

- ・照明・テレビドアホン・換気・太陽光・蓄電池
- ・火災警報器・ホーム分電盤・配電設備
- ・エアコン・エコキュート・家電商品

重点施策

I o T を絡めた電材品からの最新住宅設備のご提案、電気工事を含めた電気商材のTOTALのご提案、電材丸ごとのパック化などによる工務店の手配軽減などを構成し、新たな商材によるビジネスチャンスを創造しています。



【注意】施工例はイメージです。実際の商品、色温度や配光が異なることがあります。



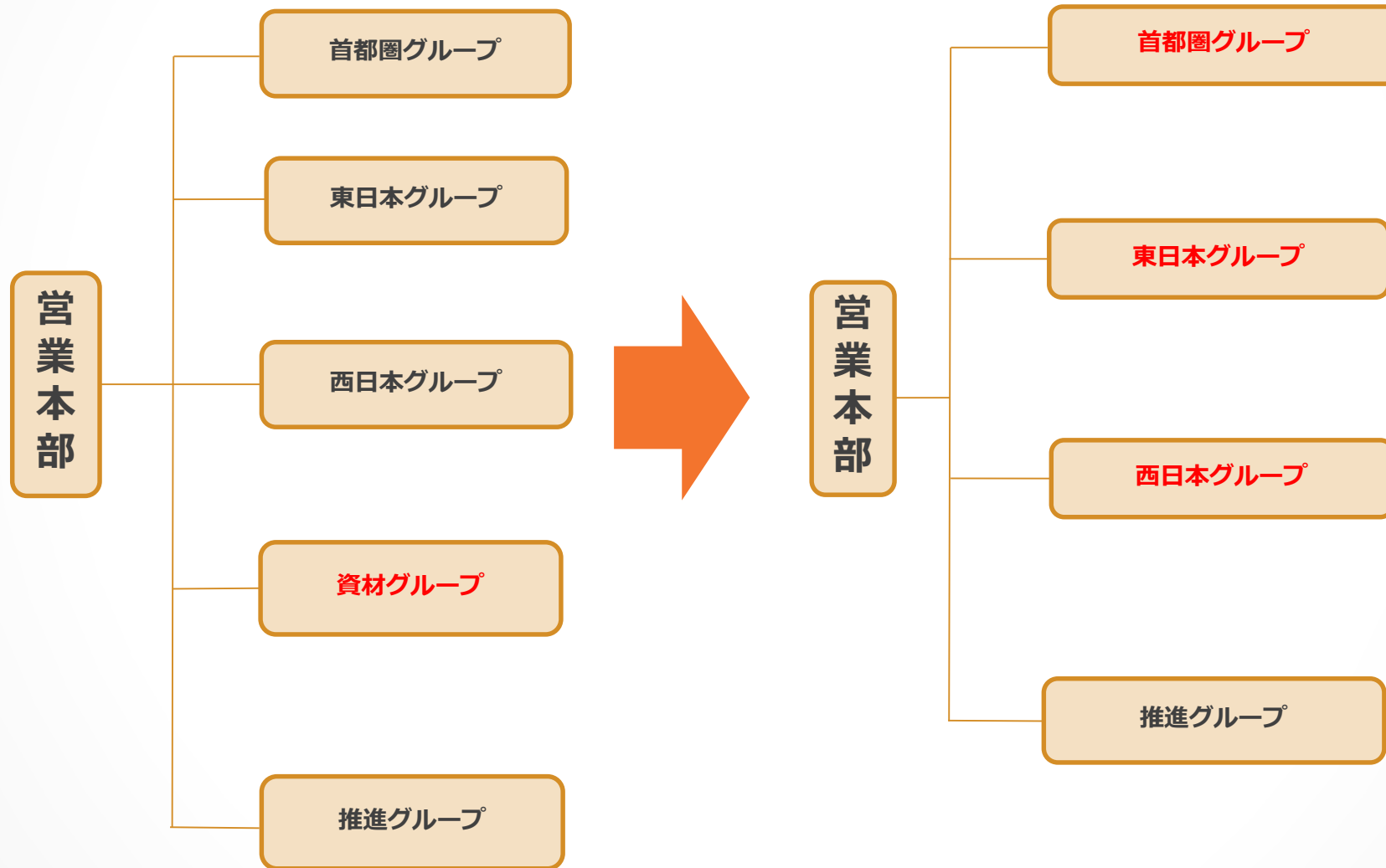
強くしなやかな組織造り

- ・ ジャパン建材(株)の機構改革
- ・ 海外事業
- ・ 建材小売子会社の再編
- ・ システムインフラの整備
- ・ 木質素材製造子会社の再編
- ・ 業界再編への取り組み
- ・ 働き方改革の実践と人材育成



- ・ 大手ハウスメーカー、ビルダー向けの産業資材・特販と小売店向けのルートの事業分野別であった営業体制を地域別に再編成
- ・ 集成材製造子会社 秋田グルーラム(株)と(株)MIYAMORIが合併しティンバラム(株)誕生
- ・ 総合建材小売事業 (株)ティエフウッド、(株)長谷川建材の子会社化
- ・ 新型コロナウイルス対策の実践を通じたBCPの強化・充実
時差出勤、テレワーク等の働き方改革実施

首都圏エリアの配送ネットワークの充実強化や、営業所・課の機能の強化および規模の適正化を図ることなどを目的に組織変更を行いました。

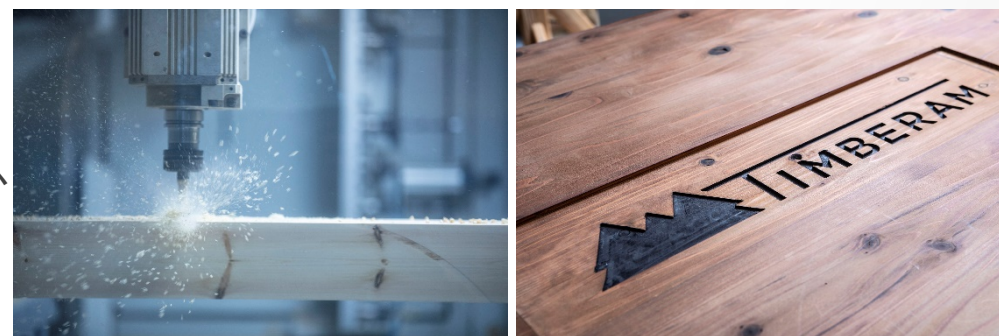




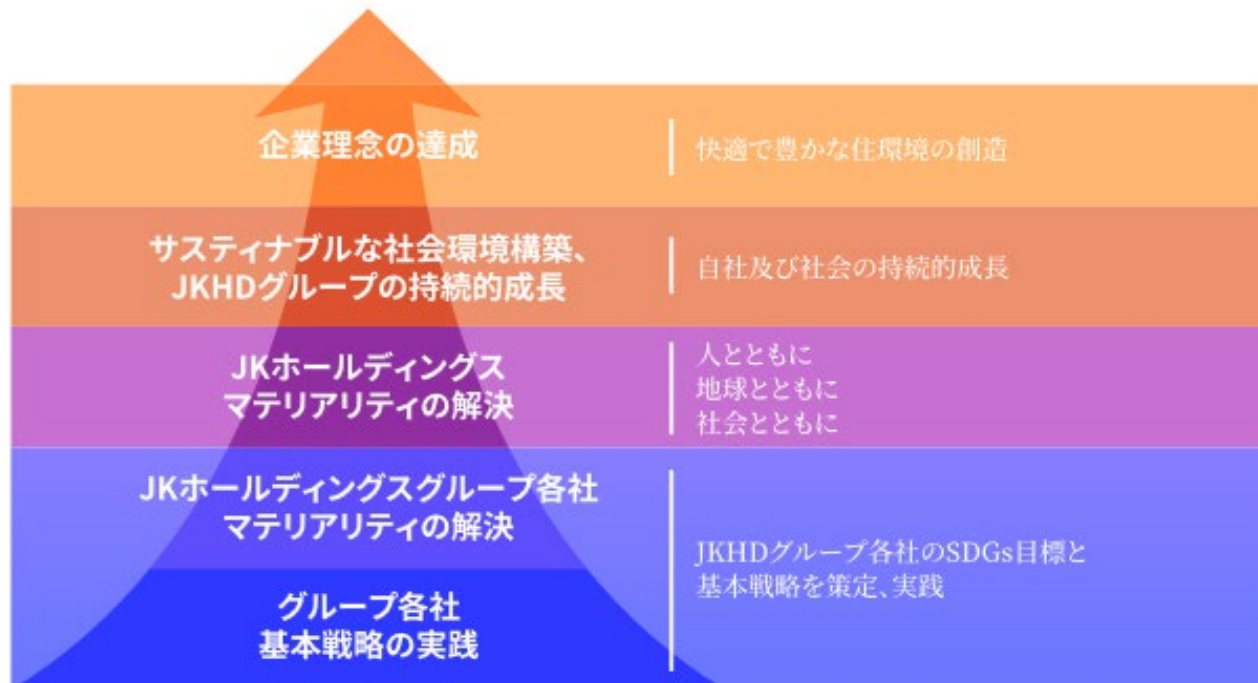
秋田グルーラム(株)と(株)MIYAMORIが合併。
集成材に関する両社のヒト・モノ・カネ、情報
を集約し、**東日本最大級の集成材メーカー**として
確固たる地位を目指します。

小・中・大断面構造用集成材の構造設計、集成材の
製造、プレカット、施工までワンストップで提供で
きるメーカーとして始動。

⇒ プレカット事業を本格稼働するほか、大断面量産
ラインの新設、CLTの製造開始、加工ラインの増設、
さらには不燃パネルの開発など新たな挑戦を続けてい
きます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは、持続可能な社会構築と自社の成長を長期的課題として認識し、JKホールディングス(株)の企業理念「快適で豊かな住環境の創造」を頂点とする取組ビジョンを設定しました。当社グループ各社がSDGs目標と重要課題を策定し、課題解決に向けた基本戦略を実践していくことで、幅広い領域の課題に対応していきます。

従業員やお取引先への新型コロナウイルス感染を未然に防止すること、お取引先への住宅建築資材の供給を円滑に行うことを最重要視しています。

J Kホールディングス(株)の取り組み

テレワーク（在宅勤務）の実施
⇒ 出社人数の抑制

従業員へ**特別休暇**の付与

柔軟な勤務時間の設定
⇒ 通勤ラッシュ等を避ける

就業時間中および通勤中は原則として
マスク着用を義務化

BCP（事業継続計画）を発動

営業所内での**パーティション設置**等

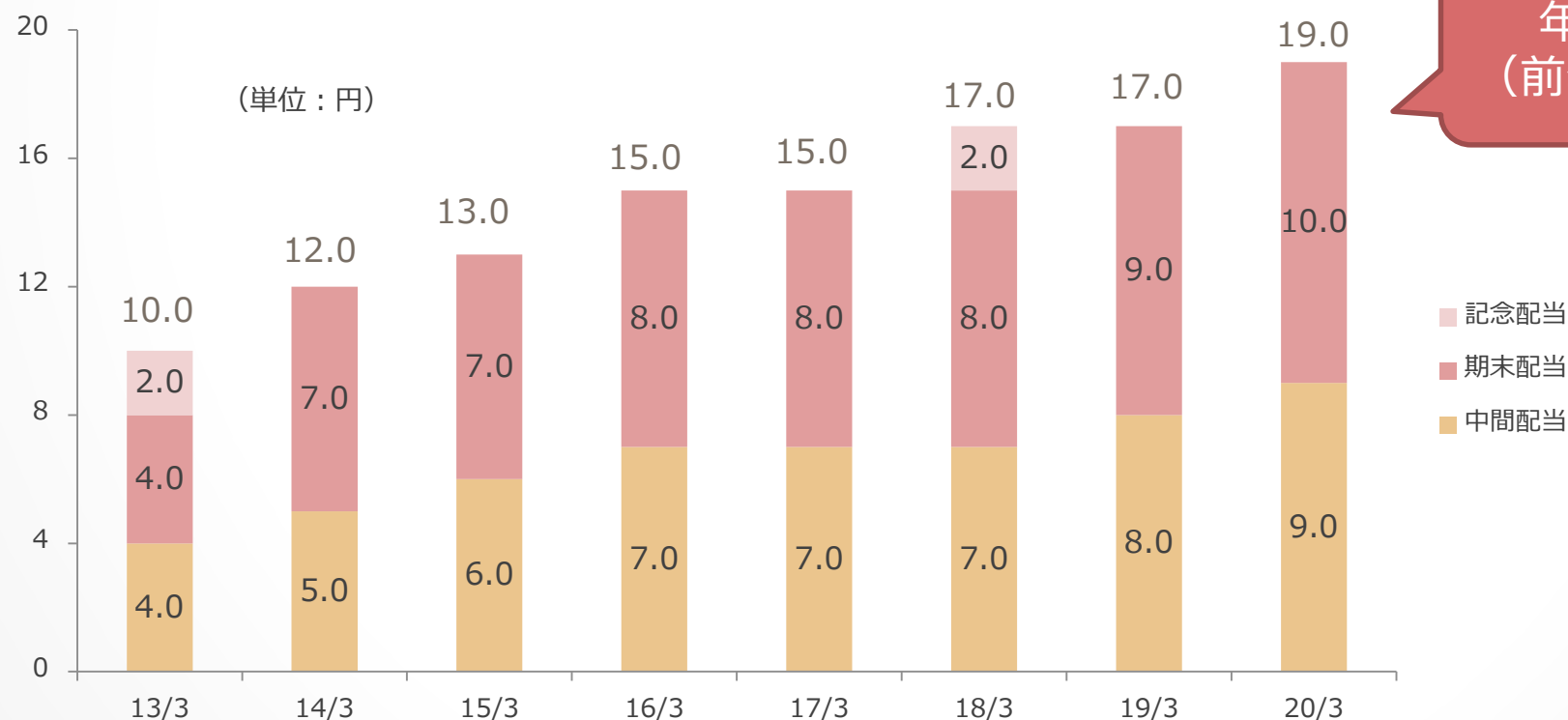
今後は**BCPをより充実強化**するとともに、**より柔軟な働き方や組織のあり方を実現**すべく環境整備に努めてまいります。

(6) 利益処分に関する基本方針及び配当金

- ・ 企業体質の強化
- ・ 内部留保の充実
- ・ 株主への安定的かつ継続的な利益還元

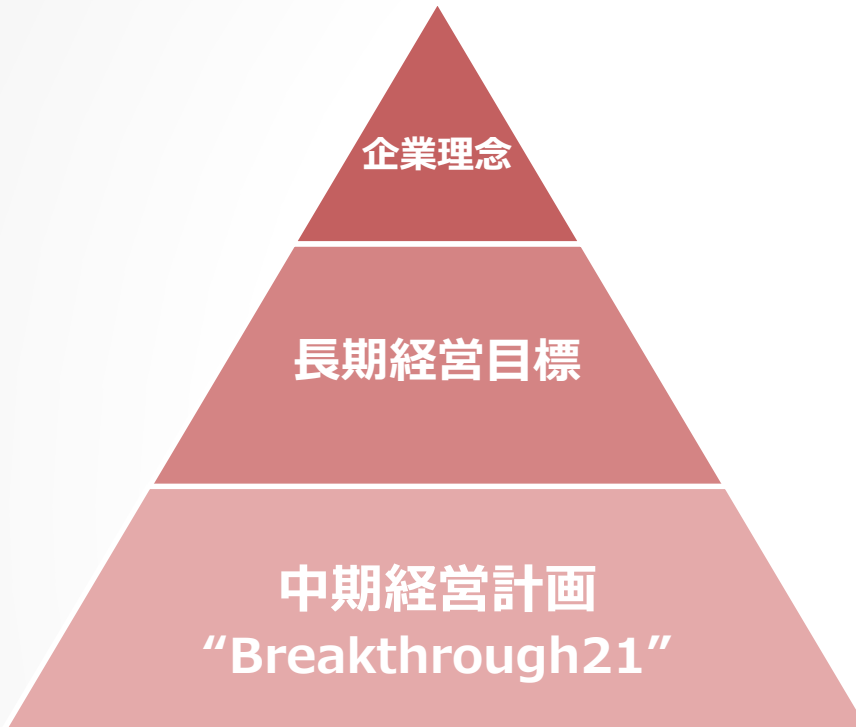
最重要課題

M&Aや営業拠点の整備などの成長投資、有利子負債の削減等財務体質の充実強化。



※ 13/3月期は創業75周年記念の記念配当、18/3月期は創業80周年の記念配当を含みます。
 ※ 現時点で2021年3月期の期末配当予想額については未定であります。

□ 中期経営計画・長期経営目標について



< 経営方針と今後の打ち手 >

連結売上高 5,000億円
連結経常利益 100億円を目指す体制づくりへ

- グループ内の組織力を高める
 - グループ内事業再編、赤字事業改善、シナジー効果を高める
- 新規事業、新規商材、新規商圏への挑戦
 - M&Aの活用
- 事業管理の強化改善
 - 業務管理、製造・品質管理、労務管理
- 企業価値向上
 - IR・PR強化、ステークホルダーとの関係強化、SDGs

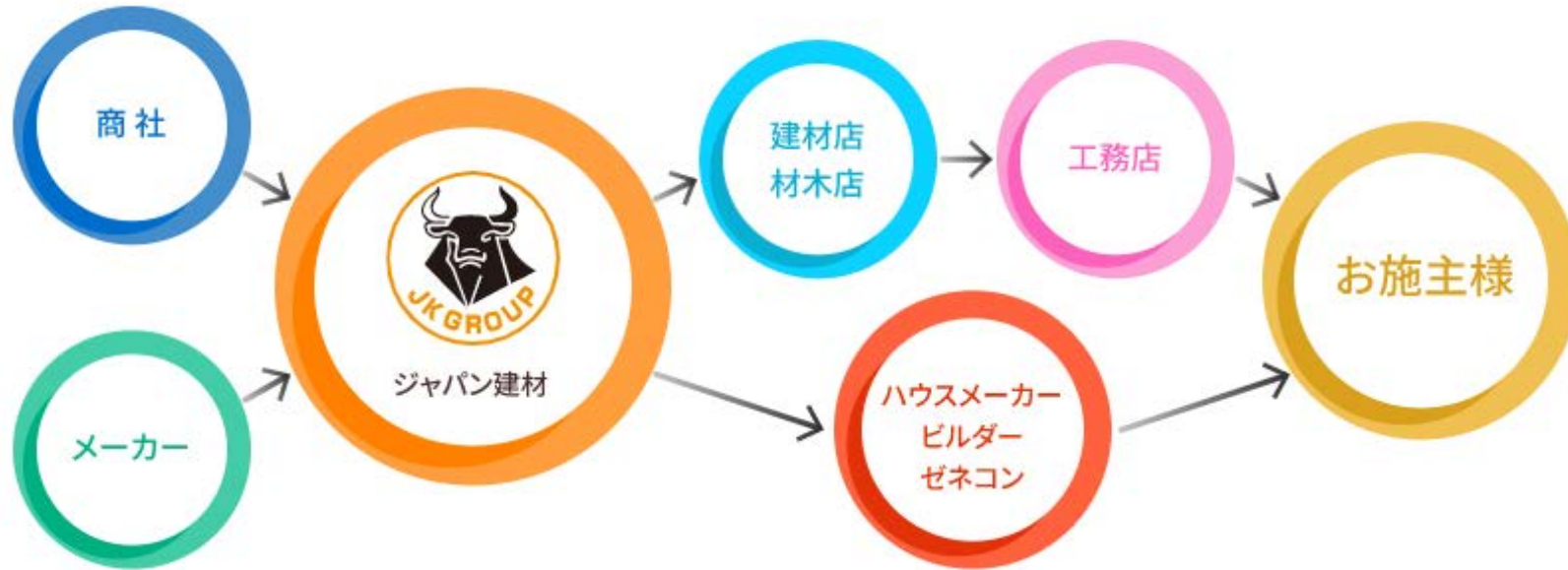
< 経営陣から株主の皆様へ >

業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。
創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、
グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。

補足資料

(1) 総合建材卸売事業の概要

住まいづくりに必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

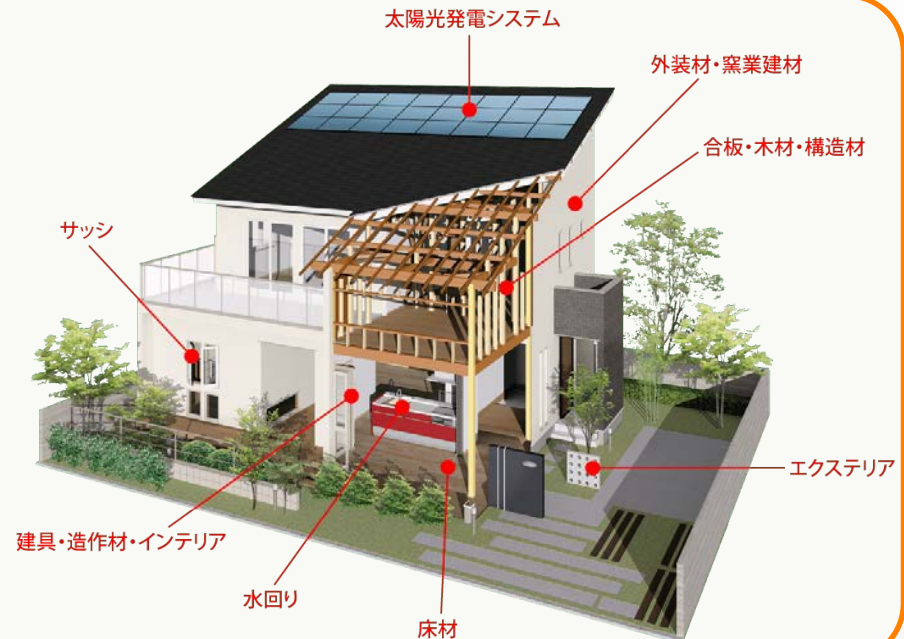
・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

…etc.



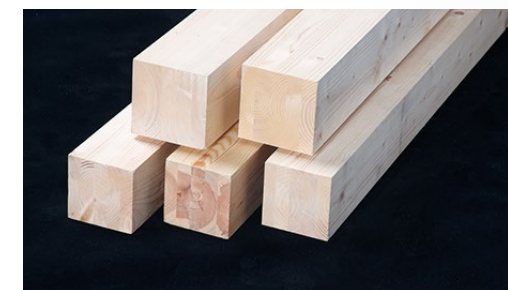
(2) 合板製造・木材加工事業の概要

合板および単板、LVL、集成材および集成加工製品などの製造販売や木材の加工及び販売事業。

■ キーテック山梨工場



■ 新商品バウムクーヘン (株)キーテック



- 針葉樹合板 (株)キーテック
- 構造用LVL (※1) KEYLAM (株)キーテック
- CLT (※2) (ティンバラム株、協同組合オホーツクウッドピア)
- パワーウッド (ティンバラム株)

※1 ロータリーレースやスライサーなどの切削機械で切削された単板の繊維方向すべて平行にして積層・接着して造られる木材加工製品です。

※2 Cross Laminated Timber (クロス・ラミネイティド・ティンバー) の略で、欧州で開発された工法となります。CLTは板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことです。

(3) 総合建材小売事業の概要

合板、合板二次、建築資材および住宅機器等の小売事業。
全国各地に地域密着型の販売店を有し、建築会社、工務店など現場の需要に迅速に対応する。

メーカー

LIXIL・TOTO・アイカ工業・クリナップ・
大建工業・タカスタンダード・ニチハ・
ノダ・パナソニック・吉野石膏 など

商社・問屋
(総合建材卸売事業)

ジャパン建材・通商・物林
など

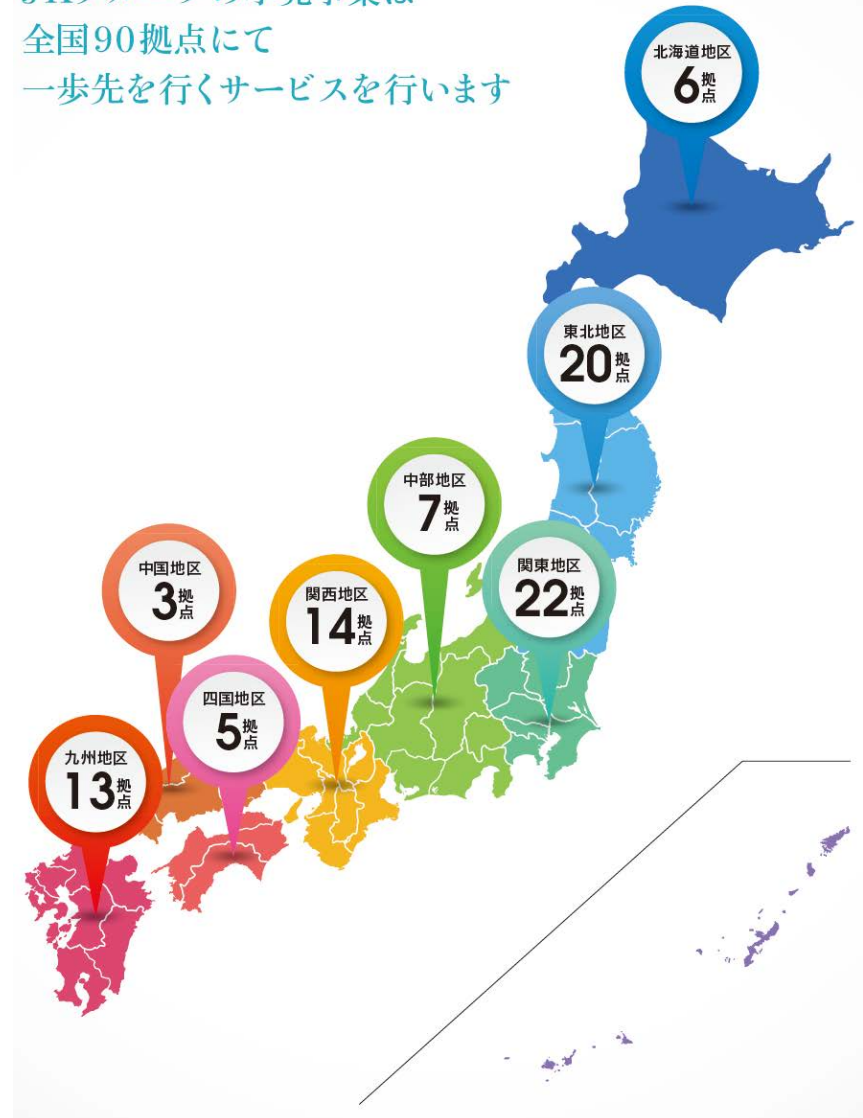
建材店・材木店 (販売店)
(総合建材小売事業)

ハウス・デポ関東
ブルケン東日本 など

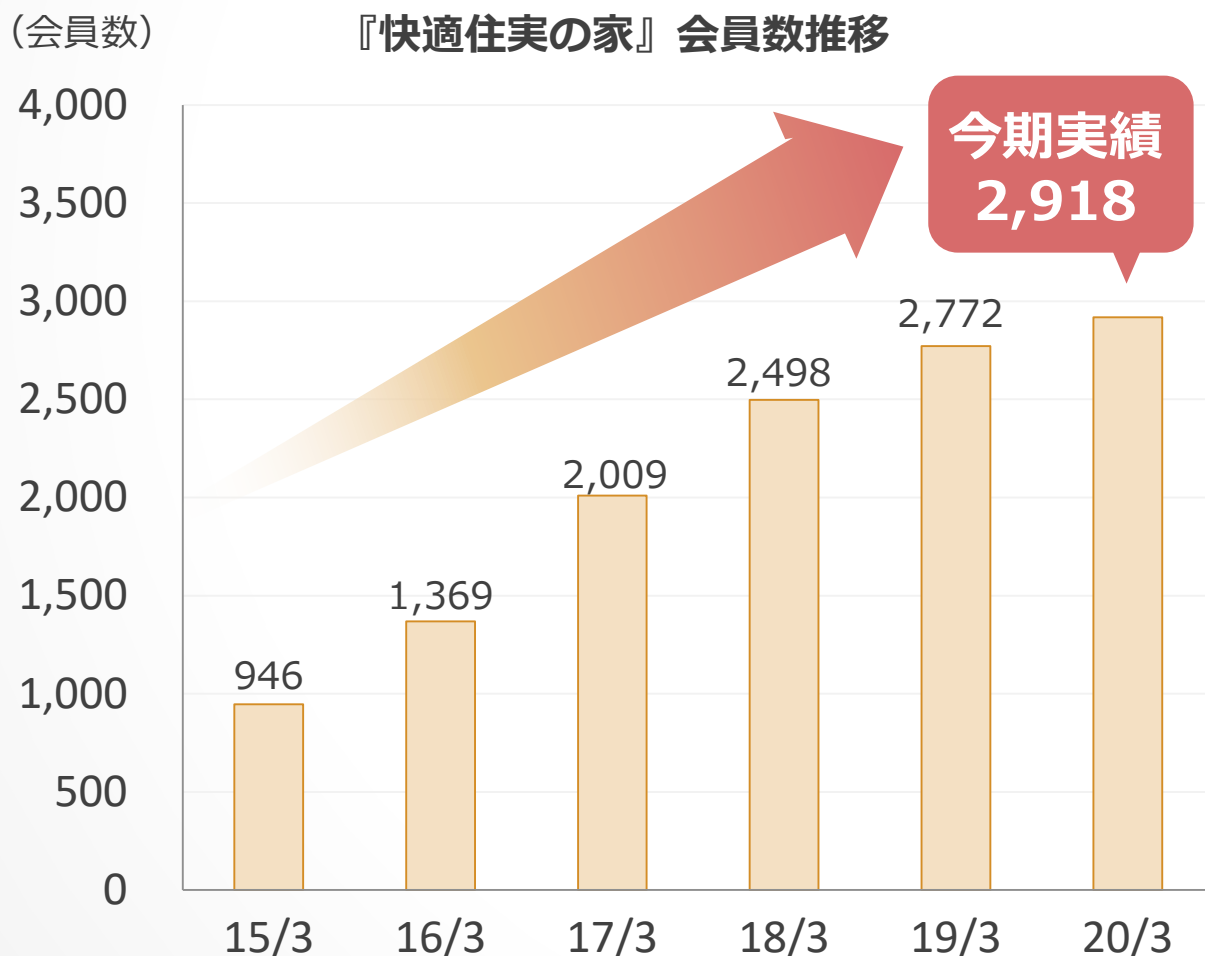
工務店・ビルダー・
ハウスメーカー

お施主様

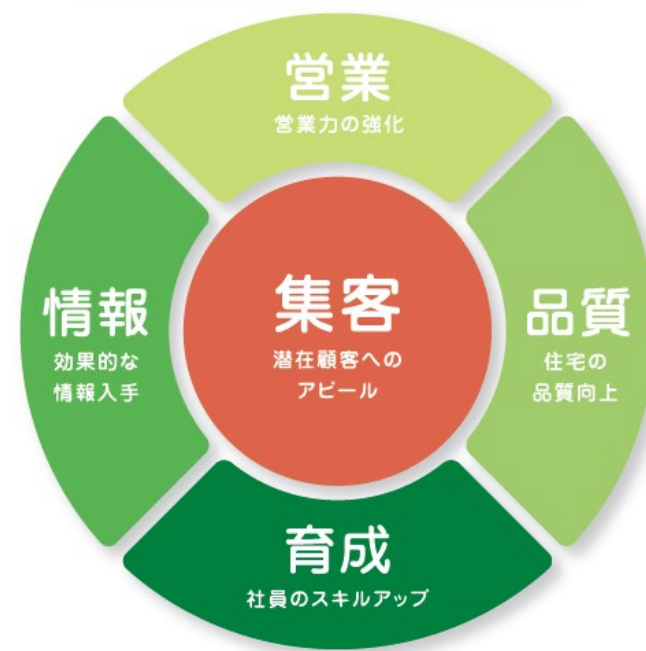
JKグループの小売事業は
全国90拠点にて
一歩先を行くサービスを行います



ジャパン建材(株)が運営する「快適住実の家」は、サポートを通じて工務店様のより良い住まいづくりを応援し、共に住宅業界で勝ち残ることを目的として活動しております。各種申請サポート業務やアフターメンテナンスなどの後方支援サービスに加えて、新規顧客獲得に繋がるサービスも充実させてまいります。



『快適住実の家』5大メリット



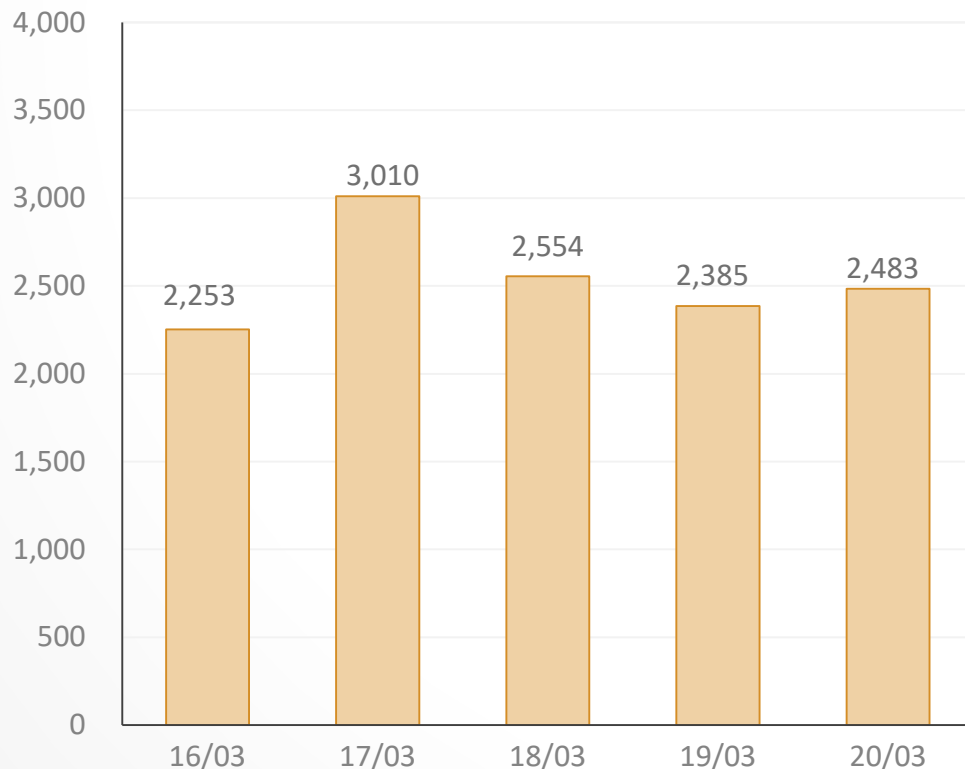


株式会社 ハウス・デポ・パートナーズ

(株)ハウス・デポ・パートナーズは、三井物産(株)、JKホールディングス(株)、(株)ハウス・デポ・ジャパンによる合併事業として2007年に設立。
主に住宅金融支援機構が提供する最長35年の長期固定金利住宅ローン【フラット35】の提供を事業として行っております。

ハウス・デポ
【フラット35】 融資件数推移

(融資件数)



金利が変わらない安心でお得なローン
と
住宅取得に役立つ情報のご提供で
地元の工務店さまを応援しています。



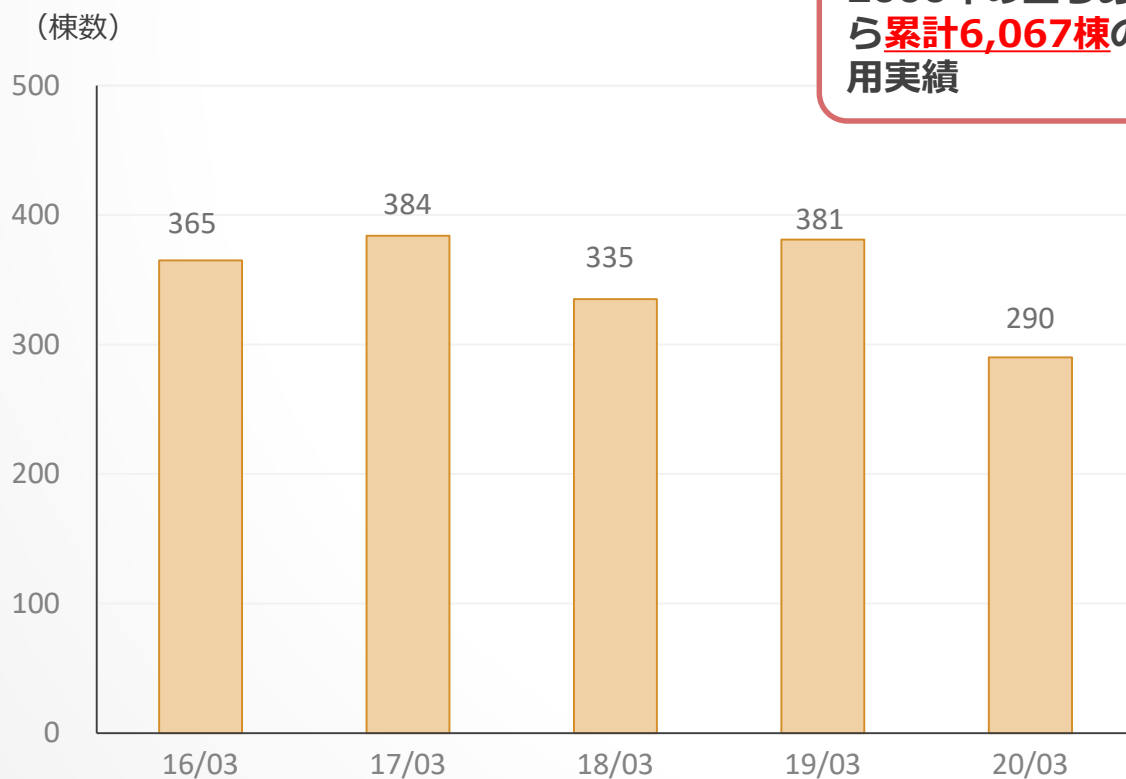
株式会社ハウス・デポ・ジャパン



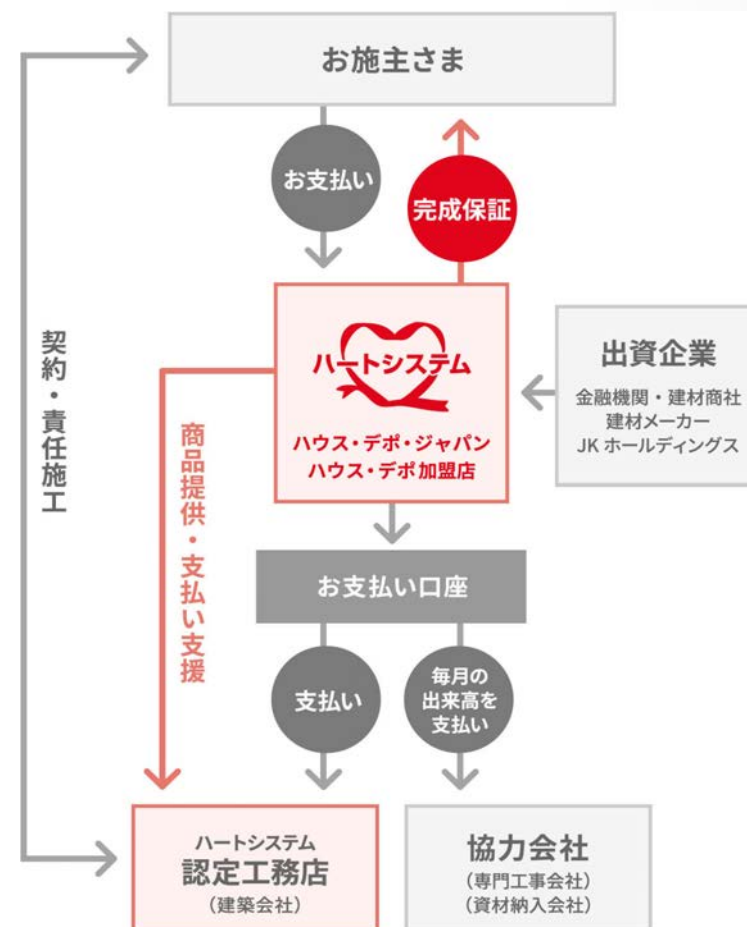
(株)ハウス・デポ・ジャパンでは、お施主様向けのサービスとして住宅完成保証の**ハートシステム**事業を行っております。

ハートシステムは株式会社ハウス・デポ・ジャパンが運営する住宅完成保証です。株式会社ハウス・デポ・ジャパンは多くの支援企業に支えられ、加盟販売店と一体となりお施主様からの建築資金をお預かりし、協定工務店と協力業者の支払いを支援しています。

ハートシステム契約利用棟数推移



2000年の立ちあげから**累計6,067棟**の利用実績





スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.